

令和 6 年度 宮中献穀事業に関する寄付金が 目標額に達しました

宮中献穀とは、毎年11月23日の新嘗祭に、日本全国から宮中へ新穀を献上する行事です。令和6年度は、長崎県を代表して佐世保市から新米を献上いたします。
今回は、この宮中献穀事業に関する寄付金が目標額に達したことのご報告です。

1. 宮中献穀について

明治25年から始まり、宮中行事である新嘗祭（11月23日）に、日本全国から宮中へ新穀を献上する行事で、長崎県からも毎年新穀が献上されています。米生産地としての PRをはじめ、小学生等の稲作体験など稲作文化の継承にも寄与しており、地元住民との交流の促進など地域の活性化につながるものと考えられます。

2. 実施市町の選定について

令和6年度は長崎県から推薦を受け佐世保市で実施しています。
※献穀田：上柚木町相当地区
佐世保市の選定は、昭和57年以来42年ぶりです。

3. 令和6年度宮中献穀佐世保市奉賛会について

- 事業の主体として、1月16日に同会の設立総会が行われました。
- ・構成メンバー
佐世保市長、佐世保市議会議長、
ながさき西海農業協同組合代表理事組合長、
地元・柚木地区の皆さま、長崎県、神社庁など
 - ・事務局
佐世保市役所農政課



4. 寄付金について

奉賛会の活動については、市民の皆様、ご賛同いただける企業・団体の皆様などのご寄付にて運営させていただいております。
衣装代や旅費など、最低限必要となる額として、370万円を目標としておりましたが、令和6年5月末時点で、約470万円の寄付を頂いております。

5. 今後の主な行事について

- 令和6年6月7日 お田植祭
- 令和6年8月 青田祭
- 令和6年10月 抜穂祭、献穀米清祓、宮中献穀献納式
- 令和6年11月 県知事、県神社庁への贈呈式

ご寄付いただきました、
多くの市民の皆様、企業の皆様に感謝申し上げます。
誠にありがとうございました。